



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月12日

上場会社名 株式会社グラフィックデザイン 上場取引所 東  
コード番号 7847 URL <https://www.gd-inc.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 拓郎  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部担当 (氏名) 窪田 悟 TEL 0494-62-2800  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 2023年11月13日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2024年2月期第2四半期の業績 (2023年3月1日～2023年8月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	1,277	△25.2	△53	—	△6	—	△2	—
2023年2月期第2四半期	1,706	12.5	339	35.2	470	71.9	323	74.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	△0.43	—
2023年2月期第2四半期	50.10	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	5,765	4,840	83.9
2023年2月期	6,442	5,085	78.9

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 4,840百万円 2023年2月期 5,085百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	10.00	—	40.00	50.00
2024年2月期	—	20.00	—	—	—
2024年2月期 (予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年2月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当10円 創立35年記念配当10円  
2024年2月期 (予想) 期末配当金の内訳 普通配当10円 創立35年記念配当10円

### 3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,750	△22.6	115	△85.1	149	△83.4	112	△81.6	17.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期2Q	6,945,600株	2023年2月期	6,945,600株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	460,147株	2023年2月期	479,147株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期2Q	6,475,127株	2023年2月期2Q	6,466,453株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へと引き下げられたことにより、移動制限も緩和され、経済活動は個人消費を中心に緩やかに回復への動きが見られました。しかし、欧米各国の金融引締政策による為替相場の急速な円安進行、原材料価格の高騰等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。世界経済におきましても同様な動きに加え、感染症の動向やウクライナ情勢など、景気を下押しするリスクは依然続くものと思われまます。

こうした外部環境の中、ゴルフ業界におきましては、国内外旅行の回復等レジャー需要の分散化、他のレジャー支出への切り替え傾向が強まり、ゴルフクラブ等の販売数量は前年度実績から減少傾向にあります。

このような状況の中、当社は受注獲得に努めてまいりましたが、当初想定していた自社ブランドシャフトの受注が大きく減少したことに伴い、操業度の低下等による原価率上昇からの売上総利益率の低下、さらに物価高による諸経費の上昇が加わり、売上高及び各段階利益ともに大きく減収減益となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,277,269千円（前年同四半期比25.2%減）、営業損失53,717千円（前年同四半期は営業利益339,818千円）、経常損失6,112千円（前年同四半期は経常利益470,161千円）、四半期純損失2,755千円（前年同四半期は四半期純利益323,972千円）となりました。

セグメントについては、下記のとおりであります。

当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーとしてゴルフシャフト等の製造販売を柱とし、ゴルフクラブ組立加工事業を行っております。

したがって、当社は、スポーツ用品関係の専門メーカーであり単一セグメントであるため、記載をしておりますが、売上集計区分である売上高構成について記載しております。

部門の名称	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	増減率 (%)
ゴルフシャフト製造販売 (千円)	1,177,206	△25.7
ゴルフクラブ組立加工及びその他 (千円)	100,062	△18.5
合計 (千円)	1,277,269	△25.2

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ676,452千円減少し、5,765,817千円となりました。

主な要因は、流動資産において、棚卸資産が100,545千円増加し、また、有形固定資産が9,068千円増加したものの、売上債権が302,105千円減少し、また、借入金返済等により現金及び預金が453,594千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末の負債総額は、前事業年度末に比べ431,148千円減少し、925,434千円となりました。

主な要因は、短期借入金が214,498千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産については、前事業年度末と比べ245,303千円減少し、4,840,383千円となりました。

主な要因は、四半期純損失を2,755千円計上し、また、配当金の支払額258,658千円を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.9%となり前事業年度末と比べ5.0ポイント増加しました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ453,594千円減少し、3,361,334千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動における資金は、43,487千円の獲得(前年同四半期は321,620千円の獲得)となりました。

主な要因は、法人税等の支払額が170,163千円発生したものの、税引前四半期純利益が5,088千円となり、売上債権が302,105千円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動における資金は、51,573千円の使用(前年同四半期は108,668千円の使用)となりました。

主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が58,361千円発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動における資金は、472,259千円の使用(前年同四半期は340,293千円の使用)となりました。

主な要因は、短期借入金の返済214,498千円と配当金の支払い257,761千円が発生したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期におきましては、2023年9月29日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、通期業績予想を修正しております。詳しくは、2023年9月29日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今後の経営環境や販売先での生産調整等、不確定要素を多分に含みます。また、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は為替相場の変動や業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。今後、業績予想数値の修正の必要が生じた場合には、適時適切に開示を行ってまいります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,814,929	3,361,334
受取手形及び売掛金	551,434	413,439
電子記録債権	195,389	31,279
商品及び製品	259,298	406,583
仕掛品	159,719	129,290
原材料及び貯蔵品	104,754	88,443
未収消費税等	39,323	—
その他	15,434	14,860
貸倒引当金	△741	△443
流動資産合計	5,139,542	4,444,788
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	606,723	600,054
土地	208,671	208,671
その他(純額)	167,607	157,394
建設仮勘定	33,430	59,380
有形固定資産合計	1,016,433	1,025,501
無形固定資産	30,973	28,163
投資その他の資産	255,320	267,364
固定資産合計	1,302,727	1,321,029
資産合計	6,442,269	5,765,817
負債の部		
流動負債		
買掛金	268,794	172,735
短期借入金	382,835	168,337
未払法人税等	183,696	12,460
賞与引当金	53,715	58,116
その他	70,828	88,018
流動負債合計	959,869	499,667
固定負債		
退職給付引当金	84,928	104,498
役員退職慰労引当金	221,816	230,528
資産除去債務	89,967	90,739
固定負債合計	396,712	425,766
負債合計	1,356,582	925,434

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	589,612	589,612
資本剰余金	582,653	582,653
利益剰余金	4,327,316	4,064,345
自己株式	△423,504	△406,708
株主資本合計	5,076,077	4,829,902
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,609	10,481
評価・換算差額等合計	9,609	10,481
純資産合計	5,085,687	4,840,383
負債純資産合計	6,442,269	5,765,817

## (2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	1,706,782	1,277,269
売上原価	792,015	659,537
売上総利益	914,767	617,731
販売費及び一般管理費	574,949	671,449
営業利益又は営業損失(△)	339,818	△53,717
営業外収益		
受取利息	295	1,811
受取配当金	666	668
為替差益	126,034	45,805
雑収入	4,523	4,430
営業外収益合計	131,519	52,716
営業外費用		
支払利息	1,176	1,268
雑損失	—	3,842
営業外費用合計	1,176	5,110
経常利益又は経常損失(△)	470,161	△6,112
特別利益		
固定資産売却益	1,277	679
保険解約返戻金	2,947	10,520
特別利益合計	4,224	11,200
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税引前四半期純利益	474,386	5,088
法人税、住民税及び事業税	155,999	5,289
法人税等調整額	△5,585	2,554
法人税等合計	150,413	7,843
四半期純利益又は四半期純損失(△)	323,972	△2,755



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	474,386	5,088
減価償却費	45,522	57,767
保険解約返戻金	△2,947	△10,520
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	△297
受取利息及び受取配当金	△961	△2,479
支払利息	1,176	1,268
為替差損益 (△は益)	△48,787	△26,750
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,225	8,711
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,066	19,570
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,465	4,401
固定資産売却損益 (△は益)	△1,277	△679
固定資産除却損	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	22,714	302,105
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△39,050	△100,545
仕入債務の増減額 (△は減少)	57,575	△96,059
その他	△1,554	50,756
小計	536,532	212,334
利息及び配当金の受取額	961	2,479
利息の支払額	△1,120	△1,163
法人税等の支払額	△214,751	△170,163
営業活動によるキャッシュ・フロー	321,620	43,487
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△107,692	△55,757
無形固定資産の取得による支出	△2,144	△2,603
有形固定資産の売却による収入	2,510	680
保険積立金の積立による支出	△4,802	△4,976
保険積立金の解約による収入	2,947	10,558
貸付金の回収による収入	513	526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,668	△51,573
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△114,498	△214,498
配当金の支払額	△225,795	△257,761
財務活動によるキャッシュ・フロー	△340,293	△472,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	48,787	26,750
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△78,554	△453,594
現金及び現金同等物の期首残高	3,915,774	3,814,929
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,837,219	3,361,334

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年5月25日開催の取締役会の決議に基づき、2023年6月9日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式19,000株の処分を実施いたしました。この結果、当第2四半期累計期間において利益剰余金が1,558千円減少、自己株式が16,796千円減少し、当第2四半期会計期間末において利益剰余金が4,064,345千円、自己株式が406,708千円となっております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（表示方法の変更）

（四半期損益計算書）

前第2四半期累計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「貸倒引当金戻入額」は、重要性が乏しいため、当第2四半期累計期間より「営業外収益」の「雑収入」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期累計期間の四半期財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前第2四半期累計期間の四半期損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「貸倒引当金戻入額」20千円及び「雑収入」4,502千円は、「雑収入」4,523千円として組み替えております。

（新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて）

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載しました新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。